

盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和5年1月25日  
教育委員会  
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

## 啄木生誕記念 館長講演会「石川啄木と夏目漱石」

石川啄木記念館では、2月20日の啄木生誕を記念して講演会を開催いたします。今年は、明治の文豪・夏目漱石と石川啄木との関わりを紹介するとともに、漱石はなぜ啄木の葬儀に参列したのかなどの推論を交えて、啄木の東京朝日新聞社時代についてお話します。

記

【日時】令和5年2月26日(日) 13時30分～15時30分

【場所】渋民公民館2階大会議室(盛岡市渋民字鶴塚55)

【講師】石川啄木記念館館長 森 義真(もり よしまさ)

【演題】「石川啄木と夏目漱石」

【定員】50人 ※要申込・先着順  
(1月24日(火)10時から電話019-683-2315にて受付開始)

【参加料】無料

【主催】盛岡市文化振興事業団 石川啄木記念館

【添付資料】啄木生誕記念館長講演会「石川啄木と夏目漱石」チラシ



わかりやすいと好評の講演会。  
この機会をお見逃しなく！



夏目漱石(なつめ そうせき)

小説家 本名・金之助  
(1867～1916)東京都出身

明治26年、東京帝大卒業後、松山、熊本で英語教師を務める。明治33年文部省から命じられ2年間英国に留学。帰国後、執筆した小説『吾輩は猫である』が人気を博し作家としての道を歩みはじめる。

石川啄木は、漱石の『吾輩は猫である』(明治38～39年)を読んで小説執筆に取り組み、『雲を天才である』(明治39年)を書いたが、漱石の影響が見られる。

明治42年、啄木は東京朝日新聞社に校正係として入社した時、漱石は社の専属作家という特別社員だった。啄木が二葉亭全集を担当した際に、漱石と交流があり、病欠していた時には漱石の指示で門下生が見舞金を届けた。漱石は、啄木の葬儀に参列した。

【問い合わせ先】

公益財団法人盛岡市文化振興事業団  
石川啄木記念館  
担当：鳥取邦美  
TEL：(019) 683 - 2315



\*2月20日は啄木の誕生日 生誕 137年

主催:石川啄木記念館(所管:盛岡市教育委員会)・(公財)盛岡市文化振興事業団  
石川啄木生誕記念 館長講演会

講師  
もり よしまさ  
森 義真  
石川啄木記念館  
館長

# 石川啄木 と夏目漱石

2023年 2/26 (日)

講演時間 13:30~15:30

会場 渋民公民館(姫神ホール)  
2階大会議室

定員 50名(要申込\*先着順)

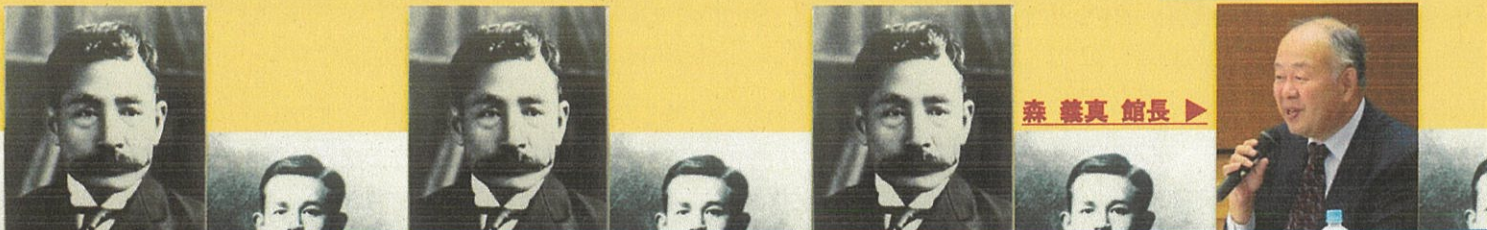
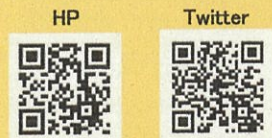
\*申込方法 1/24(火)10時~電話にて  
(石川啄木記念館 019-683-2315)受付開始

明治の文豪・夏目漱石と石川啄木との関わりを紹介。漱石はなぜ啄木の葬儀に参列したのかなど、推論を交えて、啄木の東京朝日新聞社時代における漱石との交流についてお話しします。



〈お問い合わせ〉

石川啄木記念館 指定管理者(公財)盛岡市文化振興事業団  
〒028-4132 盛岡市渋民字渋民9 TEL: 019-683-2315 FAX: 019-683-3119



森 義真 館長 ▶

\*ご参加の際は、マスクの着用・手指消毒等感染対策にご協力をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止や変更となる場合があります。当館ホームページやツイッターにて最新の情報をご確認ください。